

## 栃木県公共施設等総合管理基本方針に基づく令和4(2022)年度の実施状況について

令和5(2023)年9月28日  
経営管理部管財課

平成28(2016)年12月策定の「栃木県公共施設等総合管理基本方針」第3章の6に基づき、令和4(2022)年度における県の実施状況を報告します。

### 1 栃木県公共施設等総合管理基本方針の概要

#### (1) 対象期間

平成28(2016)年度から令和7(2025)年度までの10年間

#### (2) 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

##### <基本方針>

##### 方針1：安全・安心の確保

- ・公共施設等の点検・診断や維持保全を適時適切に行い、事故防止や防災・減災を図ることにより、県民の安全・安心を確保

##### 方針2：公共施設等の長寿命化

- ・今後も利用する公共施設等については、優先順位を設定して予防保全による長寿命化を推進

##### 方針3：公共施設等の最適化

- ・建築物について、適正な規模・配置等を踏まえた利活用を検討し、最適化を推進
- ・事故防止・防災等の観点から、利用見込みのないインフラ施設については、除却を推進

<実施方針>

項目		具体的な取組方針
①	点検・診断等	・施設類型ごとの点検・診断等の実施基準に従い、施設管理者による点検等を実施するとともに、その結果を蓄積し、維持管理業務に活用
②	維持管理・修繕・更新等	・公共施設等の維持管理については、それぞれのマニュアル等に基づき、適切に実施 ・修繕・更新等の実施に当たっては、長寿命化計画を策定し、施設の重要度や劣化度等に応じて優先順位を付けるなど計画的な予防保全を実施 ・施設の更新等を実施する場合は、当該施設の必要性を検証するとともに、民間活力（PPP/PFI）の活用について検討
③	安全確保	・点検・診断等を行い、公共施設等の状態を正確に把握し、必要な対策を適切に実施することにより、利用者等の安全を確保
④	耐震化	・県有建築物については、「栃木県建築物耐震改修促進計画」に基づき、引き続き耐震化を推進 ・インフラ施設については、施設の重要度を踏まえ耐震化を推進
⑤	長寿命化	・施設類型ごとの長寿命化計画（個別施設計画）を速やかに策定し、施設の長寿命化を推進 ・公共施設等のバリアフリー化を図るとともにユニバーサルデザイン化を推進
⑥	統合・廃止	・建築物については、施設評価を実施し、建築物の更新、施設の統廃合・集約化等を検討
⑦	気候変動対策	・カーボンニュートラルの実現や気候変動への適応に向けた取組を推進
⑧	総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築	・公共施設等を適切に維持管理していくために、研修会の開催や各種マニュアルの作成等により、施設管理者の知識及び技術の向上等を推進 ・より効果的・効率的な施設管理が可能となる場合には、関係機関との連携体制を構築・強化

(3) 施設類型ごとの管理に関する基本方針

施設類型ごとの具体的な対応方針は、施設類型（種別）ごとに各施設管理者が策定する個別施設計画（23計画）で定め、各種取組を進める。

## 2 公共施設等（施設類型ごと）の管理に関する取組状況一覧

### （1）建築物（種別：県有建築物全般、県営住宅、学校）

#### <現行の個別施設計画>

・ 県有建築物	栃木県県有財産総合利活用推進計画（第2期）	R2(2020)年度策定	（計画期間：R3～7年）
	栃木県県有建築物長寿命化実施方針	H27(2015)年度策定	（計画期間：H28～R7年）
・ 県営住宅	栃木県公営住宅等長寿命化計画	H29(2017)年度策定	（計画期間：H30～R7年）
・ 学校	栃木県立学校施設長寿命化保全計画	H27(2015)年度策定	（計画期間：H28～R37年）

#### <令和4(2022)年度末における施設の状況>

- ・ 県有建築物は、5,445棟（令和5(2023)年3月末現在）で、ほとんどが高度経済成長期以降に建設  
[内訳] 庁舎等1,500棟、学校2,695棟、県営住宅866棟、警察・消防374棟、企業局10棟

#### <令和4(2022)年度の主な取組結果>

- ・ 定期点検の実施とその結果データを蓄積し、維持管理業務に活用した。（1,616棟）
- ・ 長寿命化工事の設計（54棟）及び長寿命化工事（40棟：竣工ベース）を実施した。

#### <令和5(2023)年度以降の主な取組・今後の課題>

- ・ 定期点検の実施とその結果データの蓄積
- ・ 長寿命化工事の実施
- ・ 最新の劣化度調査で施設の不具合の状況を常に整理し、当初計画にある対象施設と新たに改修が必要となった施設の調整を毎年度実施する必要がある。

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	(※) 進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)												
<p>① 点検・診断等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「栃木県建築物日常管理マニュアル」に基づく日常点検の実施</li> <li>・長寿命化建築物の定期点検や劣化度診断の実施とその結果のデータの蓄積と維持管理業務への活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「栃木県建築物日常管理マニュアル」に基づく日常点検を実施</li> <li>・定期点検等の実施(1,616棟)とその結果データの蓄積及び維持管理業務への活用 (庁舎等353棟、県営住宅310棟、学校887棟、警察・消防65棟、企業局1棟)</li> </ul>	/													
<p>② 維持管理・修繕・更新等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点検結果や長期修繕計画を踏まえた適切な維持管理の実施</li> </ul> <p>③ 安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険性のある建築物の緊急修繕の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常点検等を踏まえた修繕の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁舎等 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>小破修繕件数(10万円以上)</td> <td>本庁舎</td> <td>20件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合同庁舎</td> <td>94件</td> </tr> </table> </li> <li>・ 県営住宅 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>小破修繕(10万円以上)</td> <td>529件</td> </tr> </table> </li> <li>・ 学校 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>小破修繕(100万円以上)</td> <td>126件</td> </tr> <tr> <td>緊急修繕等件数</td> <td>5棟</td> </tr> </table> </li> </ul> </li> <li>・ 建築物の解体 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県営住宅 6棟(建て替え)</li> </ul> </li> </ul>		小破修繕件数(10万円以上)	本庁舎	20件		合同庁舎	94件	小破修繕(10万円以上)	529件	小破修繕(100万円以上)	126件	緊急修繕等件数	5棟	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県営住宅 34棟</li> </ul>
小破修繕件数(10万円以上)	本庁舎		20件												
	合同庁舎	94件													
小破修繕(10万円以上)	529件														
小破修繕(100万円以上)	126件														
緊急修繕等件数	5棟														
<p>④ 耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「<u>栃木県建築物耐震改修促進計画</u>」に基づく耐震化の推進</li> <li>・特定天井等の非構造部材の耐震化の推進</li> </ul>	<p>特定天井等の非構造部材の耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁舎等(特定天井) 5箇所(計画値:5箇所) 宇都宮産業展示館(宇都宮市) 等</li> </ul>	◎	<p>特定天井等の耐震化の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁舎等(特定天井) 22箇所</li> <li>・ 学校(吊り天井) 3箇所</li> </ul>												

※ 「進捗度」について、計画に対して概ね80%以上の進捗を「◎」、50%以上を「○」、50%未満を「△」としています。  
 なお、進捗度が評価できない場合は、「-」としています。

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況		H28(2016)年度からの実績(累積)
		進捗度	
<p>⑤ 長寿命化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優先的に長寿命化を図る建築物の選定 〔主な対象〕 施設の主たる建築物（庁舎、県営住宅、校舎、体育館等）及び延床面積1,000㎡以上の付属的建築物</li> <li>・長期修繕計画の策定と優先度を見極めた計画的な予防保全の実施</li> <li>・新築時等の長寿命化設計基準の適用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優先的に長寿命化を図る建築物の選定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎等 179棟</li> <li>・県営住宅 299棟</li> <li>・学校 780棟</li> </ul> </li> <li>・長寿命化工事の設計 <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎等 6棟</li> <li>・県営住宅 22棟</li> <li>・学校 26棟</li> </ul> </li> <li>・長寿命化工事の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎等 13棟（計画値：13棟） 日光自然博物館（日光市）〔受変電、昇降機〕等</li> <li>・県営住宅 11棟（計画値：13棟） 県営羽川住宅（小山市）〔屋根防水、外壁、給排水〕等</li> <li>・学校 16棟（計画値：15棟） 宇都宮高校管理棟（宇都宮市）〔受変電〕等</li> </ul> </li> </ul>	◎	<p>長寿命化工事の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎等 39棟</li> <li>・県営住宅 63棟</li> <li>・学校 104棟</li> </ul>

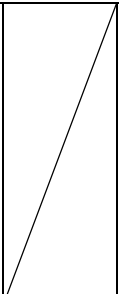
ウ 最適化の推進

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況		H28(2016)年度からの実績(累積)
		進捗度	
<p>⑥ 統合・廃止の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設評価に基づく施設の統合・廃止の検討</li> <li>・空きスペースの有効活用、集約化・複合化の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎等、県営住宅、学校 施設評価に基づき施設の統合・廃止を検討</li> <li>〔施設の集約化〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎等 4棟（計画値：4棟） 旧那須庁舎と3単独庁舎（県北健康福祉センター、那須</li> </ul> </li> </ul>	◎	<p>集約化の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎等 4棟</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・国、市町との連携等による最適化の推進</li> <li>・未利用県有財産の積極的な売却等</li> </ul>	<p>農業振興事務所、大田原土木事務所) を、新那須庁舎に集約</p> <p>[施設の解体] ・庁舎等 6棟</p> <p>[財産の処分等] (売却) 土地 元横倉第二県営住宅敷地等 5件 13,761.20m<sup>2</sup></p>	<p>建築物の解体の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎等 157棟</li> <li>・県営住宅 34棟</li> <li>・学校 77棟</li> </ul>
---	---	--

エ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)																																
<p>⑦ 気候変動対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ設備や再生可能エネルギーの導入等</li> </ul>	<p>・庁舎等</p> <table border="1" data-bbox="701 818 1500 1125"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組項目</th> <th colspan="2">施設数</th> <th rowspan="2">進捗度(※1)</th> </tr> <tr> <th>実績数</th> <th>計画数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>照明のLED化</td> <td>5施設</td> <td>5施設</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>空調設備の高効率化</td> <td>2施設</td> <td>2施設</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>太陽光発電設備の設置</td> <td>0施設</td> <td>0施設</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>重油等使用設備の電化・ガス化</td> <td>1施設</td> <td>1施設</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考) CO<sub>2</sub>削減量(推計値) 約845t(※2)</p> <p>※1 とちぎ県庁ゼロカーボンプロジェクト アクションプランにおける更新予定施設数のうち、省エネ加速化事業及び長寿命化工事による実績数に絞り評価しています。 なお、その他改修事業等の実績については、事後保全工事によるものであることから、評価の対象外としています。</p> <p>※2 更新設備の性能等から算定したもので、使用実績に基づく削減量とは異なります。</p>	取組項目	施設数		進捗度(※1)	実績数	計画数	照明のLED化	5施設	5施設	◎	空調設備の高効率化	2施設	2施設	◎	太陽光発電設備の設置	0施設	0施設	—	重油等使用設備の電化・ガス化	1施設	1施設	◎		<p>※R4(2022)年度からの実績(累積)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【庁舎等】</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1568 853 2009 1192"> <thead> <tr> <th>取組項目</th> <th>施設数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>照明のLED化</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>空調設備の高効率化</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>太陽光発電設備の設置</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>重油等使用設備の電化・ガス化</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	取組項目	施設数	照明のLED化	5	空調設備の高効率化	2	太陽光発電設備の設置	0	重油等使用設備の電化・ガス化	1
取組項目	施設数		進捗度(※1)																																
	実績数	計画数																																	
照明のLED化	5施設	5施設	◎																																
空調設備の高効率化	2施設	2施設	◎																																
太陽光発電設備の設置	0施設	0施設	—																																
重油等使用設備の電化・ガス化	1施設	1施設	◎																																
取組項目	施設数																																		
照明のLED化	5																																		
空調設備の高効率化	2																																		
太陽光発電設備の設置	0																																		
重油等使用設備の電化・ガス化	1																																		

<p>⑧ 管理体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な施設の維持管理・保全に係るマニュアル等の整備</li> <li>・ファシリティマネジメント研修会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「栃木県建築物日常管理マニュアル」の活用促進</li> <li>・建物の基本情報、保全情報、コスト情報等を施設毎にまとめた「施設カルテ」（455件）を整備し公表</li> <li>・ファシリティマネジメント研修会の実施 (令和4年6月23日(金)開催 参加者88名)</li> </ul>		
--	--	---	--

(2) 道路(種別:橋梁、歩道橋、トンネル、道路アンダー・地下道、シェッド等、門型標識、舗装)

<現行の個別施設計画>

○橋梁	栃木県橋梁長寿命化修繕計画	H23(2011)年度策定	(計画期間:R3~7年)
○歩道橋	栃木県横断歩道橋長寿命化修繕計画	H28(2016)年度策定	(計画期間:R3~7年)
○トンネル	栃木県トンネル長寿命化修繕計画	H27(2015)年度策定	(計画期間:R3~7年)
○道路アンダー・地下道	栃木県道路アンダー・地下道長寿命化修繕計画	H28(2016)年度策定	(計画期間:R3~7年)
○シェッド等(※)	栃木県シェッド等長寿命化修繕計画	H28(2016)年度策定	(計画期間:R3~7年)
○門型標識	栃木県門型標識長寿命化修繕計画	R4(2022)年度策定	(計画期間:R3~7年)
○舗装	栃木県舗装長寿命化修繕計画	H26(2014)年度策定	(計画期間:なし)

(※) シェッド・・・雪崩や落石、土砂崩れから道路等を守るために作られた、トンネルに類似した防護用建造物。

<令和4(2022)年度末における施設の状況>

- ・道路施設は、約3,400の構造物(約90%が橋梁)、約3,400kmの舗装(令和5(2023)年3月末現在)及び道路附属物で、その多くが高度経済成長期前後に整備
- ・全体の約41%の構造物が建設後50年を経過(10年後に約53%、20年後に約64%)

<令和4(2022)年度の主な取組結果>

- ・門型標識における予防保全工事への転換、施設の適正管理、費用縮減及び予算標準化を図るため、栃木県門型標識長寿命化修繕計画を策定した。
- ・各長寿命化修繕計画の改定を行った。
- ・定期点検の実施とその結果をデータベースに蓄積し、維持管理業務に活用した。  
(橋梁604橋、トンネル19本、門型標識21箇所等)
- ・施設(橋梁・トンネル・舗装等)の長寿命化修繕計画に基づく計画的な修繕を実施した。  
(橋梁106橋、トンネル8本、舗装約110km等)

<令和5(2023)年度以降の主な取組・今後の課題>

- ・定期点検の実施とその結果をデータベースに蓄積
- ・施設(橋梁・トンネル・舗装等)の長寿命化修繕計画に基づく計画的な修繕



ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
① 点検・診断等 ・定期点検・診断の実施  ・定期点検・診断結果等の台帳等への蓄積と維持管理業務への活用	・法定点検（5年に1回）の実施 （橋梁604橋、トンネル19本、門型標識21箇所 等）  ・法定点検、日常点検による診断結果をデータベースに蓄積及び維持管理業務への活用	/	
② 維持管理・修繕・更新等 ・「道路管理の手引き」に基づく維持管理の実施 ③ 安全確保 ・危険性のある場合の通行止めや通行規制等の実施及び緊急修繕の実施	・「道路管理の手引き」に基づく維持管理の実施 ・法定点検、日常点検結果や利用者から通報等に基づき、補修等の必要な箇所を把握し、随時補修等を実施  ・災害復旧工事の実施 1件 一般国道120号（日光市）	/	
④ 耐震化 ・橋梁の耐震化の実施	・耐震補強の実施 実施対象施設なし	—	※耐震補強の実績 ・橋梁 5橋

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
⑤ 長寿命化 ・長寿命化修繕計画の策定及び予防保全等による計画的かつ効果的な修繕の実施	・「栃木県門型標識長寿命化修繕計画」の策定  ・長寿命化修繕計画に基づく計画的な修繕の実施 【橋 梁】 106橋（計画値：79橋） 烏山大橋（那須烏山市） 等 【歩道橋】 16橋（計画値：6橋） 築瀬歩道橋（宇都宮市） 等 【トンネル】 8本（計画値：6本） 深山トンネル（那須塩原市）等 【道路アンダー・地下道】 4箇所（計画値：0箇所）下砥上アンダー（宇都宮市） 等 【シールド等】 2箇所（計画値：1箇所） 鬼怒木洞門（日光市） 等 【舗 装】 約110km（計画値：100km）	◎	・長寿命化修繕計画に基づく計画的な修繕の実施 ・橋梁 276橋 ・歩道橋 69橋 ・トンネル 43本 ・道路アンダー 12箇所 ・シールド等 9箇所 ・舗装 約1,055km

ウ 最適化の推進

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
		◎	
⑥ 統合・廃止の推進 ・ 今後利用が見込まれない歩道橋等の 廃止の検討	(施設の廃止) 【橋 梁】 1橋 (計画値: 2橋/計画期間内) 神子内橋 <small>みこうちばし</small> (旧橋) (日光市) を廃止し新橋に1本化	◎	・ 橋梁 1橋

エ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
		—	
⑦ 気候変動対策の推進	・ 実施対象施設無し	—	
⑧ 管理体制の構築 ・ 栃木県道路メンテナンス会議の開催  ・ 道路情報モニター制度等を活用した 道路施設損傷の早期発見	・ 栃木県道路メンテナンス会議 (令和4年8月5日(金)開催 )  ・ モニター協定締結団体 7団体	/	
⑨ その他	・ PCB含有塗膜の処分 橋梁 (3橋) について、処分を実施	/	PCB 処理完了数 橋梁 (7橋) について、処分完了

### (3) 河川

#### <現行の個別施設計画>

- ・ 栃木県河川管理施設長寿命化修繕計画 H28(2016)年度策定 (計画期間：H29～R48年)

#### <令和4(2022)年度末における施設の状況>

- ・ 県管理河川は292河川(延長約2,500km)
- ・ 個別施設計画の対象としている河川管理施設は、排水機場、水門等53施設(令和5(2022)年3月末現在)
- ・ その他河川管理施設は、183施設(令和5(2022)年3月末現在)
- ・ 上記全ての河川管理施設の約63.1%が建設後50年を経過(20年後に約63.6%)(令和5(2022)年3月末現在)

#### <令和4(2022)年度の主な取組結果>

- ・ 定期点検の実施とその結果をデータベースに蓄積し、維持管理業務に活用した。(排水機場等46施設)
- ・ 耐震補強工事を実施した。(1箇所)

#### <令和5(2023)年度以降の主な取組・今後の課題>

- ・ 河川法定点検の実施(L=940km)
- ・ 排水機場や放水路等の各施設の定期点検の実施(46施設)
- ・ 点検支援システムに点検結果を蓄積
- ・ 点検結果に基づく予防保全対策の実施または計画的な修繕・更新
- ・ 災害復旧工事の実施
- ・ 長寿命化修繕計画に基づく、点検・評価及び対策の実施
- ・ 橋梁(田川：農道橋3橋)を1橋に統合
- ・ 国と全国の地方自治体の維持管理研究会及び関東地方維持管理技術会議への参加

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
① 点検・診断等 ・河川法に基づく定期(法定)点検の実施 ・河川管理に係る情報のデータベースへの蓄積と維持管理業務への活用	・日常点検の実施 ・河川法定点検の実施(L=940km) ・排水機場や放水路等の各施設の定期点検の実施(46施設) ・点検支援システムに点検結果を蓄積	/	
② 維持管理・修繕・更新等 ・施設の重要度に応じた修繕・更新の実施 ③ 安全確保 ・突発的な災害や損傷を受けた場合の緊急的な維持・修繕措置の実施	・日常点検、法定点検結果に基づき、補修等の必要な箇所を把握し、随時補修等を実施  ・災害復旧工事の実施(2件) 一級河川武茂川(那珂川町)2箇所	/	
④ 耐震化 ・地震により影響を受ける可能性のある施設の重要度に応じた耐震化の検討	・耐震補強工事の実施 1施設(計画値:1施設) 釜川放水路(宇都宮市)	◎	※耐震補強工事の実施 1件 (釜川放水路)

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
⑤ 長寿命化 ・栃木県河川管理施設長寿命化修繕計画に基づき、適時、効率的・効果的な対策の実施 ・施設の状態や対策履歴等の情報を基に今後の点検・診断等に活用する「メンテナンスサイクル」の構築	・長寿命化修繕計画に基づく、点検・評価及び対策の実施(点検結果(健全度)に応じた計画的な修繕)  1箇所(健全度d)(計画値:1箇所) 鋼矢板護岸腐食対応(栃木市)  2箇所(健全度c)(計画値:2箇所) 江川放水路(宇都宮市) 等	◎	健全度d 10箇所  健全度c 42箇所

ウ 最適化の推進

実施方針及び取組内容	R 4 (2022) 年度の主な取組状況	進捗度	H28 (2016) 年度からの実績 (累積)
		⑥ 統合・廃止の推進 ・ 治水上影響のある許可工作物等の統廃合の検討	

エ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R 4 (2022) 年度の主な取組状況	進捗度	H28 (2016) 年度からの実績 (累積)
		⑦ 気候変動対策の推進	
⑧ 管理体制の構築 ・ 維持管理に関する研修会及び国・他自治体が連携した研究会の検討結果を踏まえた適正な保全の実施	・ 国と全国の地方自治体の維持管理研究会及び関東地方維持管理技術会議への参加 (令和4年11月21日)  ・ 研修会・研究会の結果をフィードバックし、適正な維持管理やコスト削減を図る。	/	

(4) 砂防

<現行の個別施設計画>

- ・ 栃木県砂防関係施設長寿命化修繕計画 H28(2016)年度策定 (計画期間：無し)

<令和4(2022)年度末における施設の状況>

- ・ 砂防関係施設は1,203箇所(令和5(2023)年3月末時点)で、多くが高度経済成長期以降に建設  
 [内訳] 砂防施設916箇所、急傾斜地崩壊防止施設258箇所、地すべり防止施設20箇所、雪崩防止施設9箇所
- ・ 全体の約23%が建設後50年を経過(10年後に約41%、20年後に約62%)

<令和4(2022)年度の主な取組結果>

- ・ 定期点検、健全度評価の実施とその結果データを蓄積し、維持管理業務に活用した(定期点検・健全度評価 294箇所)

<令和5(2023)年度以降の主な取組・今後の課題>

- ・ 砂防関係施設の点検及び健全度評価を実施
- ・ 要対策施設の修繕を実施
- ・ 長寿命化修繕計画の見直しを実施

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況		H28(2016)年度からの実績(累積)
		進捗度	
① 点検・診断等 ・ 「砂防施設点検マニュアル」に基づく定期点検、臨時点検等の実施  ・ 点検結果の蓄積と維持管理業務への活用	・ 定期点検、臨時点検、健全度評価の実施(294箇所) (点検計画に基づく点検 基本年1回 大雨、地震発生時等 随時実施) [内訳] 砂防施設 227箇所 急傾斜地崩壊防止施設 61箇所 地すべり防止施設 5箇所 雪崩防止施設 1箇所	/	・ 2266箇所 [内訳] H29年度 218箇所 H30年度 254箇所 R1年度 264箇所 R2年度 916箇所 R3年度 320箇所 R4年度 294箇所

② 維持管理・修繕・更新等 ・「砂防施設点検マニュアル」に基づく定期点検、臨時点検結果等に基づく、修繕、補修等 ③ 安全確保 ・危険性があると判断された場合や突発的な災害や事故等により損傷を受けた場合の緊急修繕の実施	・定期点検、臨時点検等の結果に基づき、補修等の必要な箇所を把握し、随時補修等を実施	/	
④ 耐震化 ・地震の影響を受ける可能性のある施設の耐震化の検討	・対象施設無し	-	

#### イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
		⑤ 長寿命化 ・栃木県砂防関係長寿命化修繕計画の策定と予防保全による経済的かつ効果的な修繕・更新等の実施	・要対策施設の修繕 16箇所(複数年継続実施) (計画値:16箇所) 釜ヶ入沢本川砂防堰堤(益子町) 等

#### ウ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
		⑥ 気候変動対策の推進	・実施対象施設無し
⑦ 管理体制の構築 ・人材育成の技術研修等の実施	・技術研修会への参加(令和4年10月26日開催 2名参加)	/	

(5) ダム

<現行の個別施設計画>

- ・ 栃木県ダム長寿命化修繕計画 H27(2015)年度策定 (R3(2020)年度改定) (計画期間: H28~R48年)

<令和4(2022)年度末における施設の状況>

- ・ 県土整備部の管理ダムは7ダムで、最も古いものは建設後63年が経過。  
 ※建設後50年が経過したダム: 2基

<令和4(2022)年度の主な取組結果>

- ・ ダム操作規則に基づく点検の実施とその結果をデータベースに蓄積し、維持管理業務に活用した。(7ダム)
- ・ 「栃木県ダム長寿命化修繕計画」に基づく計画的な設備の更新・修繕を実施した。(11件)

<令和5(2023)年度以降の主な取組・今後の課題>

- ・ ダム操作規則に基づく点検等の実施。(7ダム)
- ・ 「栃木県ダム長寿命化修繕計画」に基づく計画的な設備の更新・修繕を実施。
- ・ 令和7(2025)年度栃木県ダム長寿命化修繕計画改定予定。(関係土木事務所との調整必要)

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況		H28(2016)年度からの実績(累積)
		進捗度	
① 点検・診断等 ・ ダム操作規則に基づく点検等の実施  ・ 定期検査、総合点検等の中長期的な点検等の実施  ・ 点検結果の長寿命化修繕計画へのフィードバックと維持管理業務への反映	・ ダム操作規則に基づく点検実施(7ダム全て) 日常点検・・・毎日 月例点検・・・月1回 年点検・・・年1回 その他設備に関する点検(年1回)  ・ 定期(法令)検査(2ダム) ※ 各ダム3年ごとに実施	/	



② 維持管理・修繕・更新等 ・ダム操作規則に基づくダムの日常管理の実施 ③ 安全確保 ・点検等により危険性があると判断された場合の緊急修繕の実施	・日常点検、月例点検等の結果に基づき、補修等の必要な箇所を把握し、随時修繕等を実施。	/	
---	--	---	--

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R 4 (2022) 年度の主な取組状況	進捗度	H28 (2016) 年度からの実績 (累積)
		④ 長寿命化 ・ダム長寿命化修繕計画に基づく予防保全への転換等による経済的、効果的な施設管理の実施	・計画的な設備の更新 11件 (計画値: 18件) 中禅寺ダム (日光市) [受電設備、自家用発電設備] 等

ウ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R 4 (2022) 年度の主な取組状況	進捗度	H28 (2016) 年度からの実績 (累積)
		⑤ 気候変動対策の推進	・実施対象施設無し
⑥ 管理体制の構築 ・人材育成の研修等の実施	・第三級陸上特殊無線技士養成課程 (令和 4 年 8 月 26 日) への参加 (3 名)	/	

(6) 下水道

<現行の個別施設計画>

- ・下水道ストックマネジメント計画 H29(2017)年度策定 (計画期間：R5～9年)

<令和4(2022)年度末における施設の状況>

・下水道施設の状況

(管路施設) 流域幹線管きょ延長は約160.8km、令和25(2043)年度には約57%が50年を経過

(中継ポンプ場施設、処理場施設)

流域下水道処理場は6箇所、中継ポンプ場は12箇所、平成25(2013)年度時点で約半数の設備が標準耐用年数を超過

(栃木県下水道資源化工場) 平成25(2013)年度時点で約半数の設備が標準耐用年数を超過

<令和4(2022)年度の主な取組結果>

- ・定期点検(6処理区)実施した。
- ・耐震工事について、管路施設(5処理区)、中継ポンプ場(1処理区)及び処理場(1処理区)で実施した。

<令和5(2023)年度以降の主な取組・今後の課題>

- ・令和4(2022)年度に栃木県生活排水処理構想を改定し、広域化・共同化計画を位置づけたため、施設の統廃合等の進捗管理を行なう。

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況		H28(2016)年度からの実績(累積)
		進捗度	
① 点検・診断等 ・日常点検及び定期点検の実施と結果のデータベース化による各資産の健全度判定の精度向上	・日常点検及び定期点検の実施 (6処理区) ・随時、点検データ等の情報を蓄積		

<p>② 維持管理・修繕・更新等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 包括的民間委託等による効率的な管理</li> <li>・ リスク評価等による修繕対応資産の選定</li> <li>・ 下水道ストックマネジメント計画に基づく計画的な改築事業の実施</li> </ul> <p>③ 安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 点検・診断等により危険性があると判断された場合の緊急修繕の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>4 処理区</u>で更新（6 処理区全てで委託を実施）</li> <li>・ <u>2 処理区</u>で選定（緊急度、更新時期等から修繕箇所を選定）</li> <li>・ 管路施設のデータベース化と老朽化推移予測等の支援システムの運用を開始</li> <li>・ 事後保全工事の件数 10万以上100万未満 1件 100万以上250万未満 11件</li> <li>・ 道路陥没防止のための管渠内の点検・調査（詳細調査）</li> </ul>		
<p>④ 耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下水道総合地震対策計画に基づく耐震診断及び補強等の推進</li> <li>・ <u>下水道BCP（事業継続）計画</u>に基づく訓練等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管路施設の耐震工事（5 処理区）（計画値：5 処理区）</li> <li>・ 中継ポンプ場の耐震工事（1 処理区）（計画値：1 処理区）</li> <li>・ 処理場の耐震工事（1 処理区）（計画値：1 処理区） ※ 計6 処理区（重複処理区あり）</li> <li>・ 市町と連携した訓練（年1回） （令和4年7月5日実施 429人参加）</li> </ul>	◎	<p>6 処理区</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年1回実施につき、合計7回</li> </ul>

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R4 (2022) 年度の主な取組状況	進捗度	H28 (2016) 年度からの実績 (累積)
<p>⑤ 長寿命化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スtockマネジメント手法を用いた老朽化対策の展開（改築、更新の実施）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改築、更新の実施 2 設備（計画値：3 設備） 鬼怒川上流浄化センター（日光市）[汚泥処理設備] 等</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改築、更新の実施 22設備</li> </ul>

ウ 最適化の推進

実施方針及び取組内容	R 4 (2022) 年度の主な取組状況	進捗度	H28 (2016) 年度からの実績 (累積)
⑥ 統合・廃止の推進 ・農業集落排水施設等を対象とした下水道への接続等、効率的な汚水処理方法の検討	・農業集落排水施設の下水道への接続協議を実施	—	

エ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R 4 (2022) 年度の主な取組状況	進捗度	H28 (2016) 年度からの実績 (累積)
⑦ 気候変動対策の推進 ・再生可能エネルギー導入等によるCO <sub>2</sub> 削減	(参考) R 4 年度におけるCO <sub>2</sub> 削減量 4,357t (計画値: 3,700t) 消化ガス発電 (再生可能エネルギー導入) と 処理場の適正運転の実施	◎	(CO <sub>2</sub> 削減量) 12,337t (R2年度以降の実績) ・消化ガス発電 (再生可能エネルギー導入)、処理場の適正運転 県央浄化センター 平成27年2月 鬼怒川上流・巴波川 平成27年4月 北那須浄化センター 平成27年5月 思川浄化センター 令和2年2月 大岩藤浄化センタ 令和2年4月
⑧ 管理体制の構築 ・アセットマネジメントの導入による経営状況の「見える化」の推進	・下水道場の実施 (県、市町間の連携強化)。 (令和5年2月14日 県: 9名 市町: 34名参加)  (参考: 継続) R2から公営企業会計を適用し、公営企業会計システムの構築と固定資産調査及び評価を実施		

(7) 都市公園

<現行の個別施設計画>

- ・ 栃木県公園施設長寿命化計画（第2期） R3(2021)年度策定（計画期間：R4～13年）

<令和4(2022)年度末における施設の状況>

県営都市公園は9公園で、最も古いものは開設から49年が経過。（令和5(2023)年3月末時点）

<令和4(2022)年度の主な取組結果>

「栃木県公園施設長寿命化計画」に基づく計画的な修繕・更新を実施した。（31箇所）

<令和5(2023)年度以降の主な取組・今後の課題>

老朽化施設の効率的な修繕・更新

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況		H28(2016)年度からの実績(累積)
		進捗度	
① 点検・診断等 ・ 「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」に基づく遊具の日常点検の実施  ・ 外部委託による定期点検の実施	・ 指針等に基づく遊具の点検実施（9公園） 日常点検（随時） 法定点検（年1回）  ・ 県と指定管理者合同での安全点検の実施（年2回）	/	

<p>② 維持管理・修繕・更新等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者による事業計画書に基づく維持管理の実施</li> </ul> <p>③ 安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険性があると判断した公園施設の緊急修繕等の実施</li> <li>・老朽化し危険性が高く、今後も利用見込みのない公園施設の除却の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法定点検、日常点検結果に基づき、補修等の必要な箇所を把握し、随時補修等を実施。</li> </ul>	/	
---	--	---	--

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R 4 (2022) 年度の主な取組状況	進捗度	H28 (2016) 年度からの実績 (累積)
<p>④ 長寿命化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「栃木県公園施設長寿命化計画」に基づく計画的、効果的な公園施設の維持管理の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木県公園施設長寿命化計画に基づく修繕・更新工事 43箇所（計画値：42箇所） 井頭公園（真岡市）[起流ポンプ] 等</li> </ul>	◎	<p>※修繕・更新の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・43箇所（R4～）</li> </ul>

ウ 最適化の推進

実施方針及び取組内容	R 4 (2022) 年度の主な取組状況	進捗度	H28 (2016) 年度からの実績 (累積)
<p>⑤ 統合・廃止の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化度や将来の利用見込みを踏まえた公園施設の統合・廃止の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化計画のリスト点検結果に基づき、令和4年度実施対象施設なし</li> </ul>	—	

エ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R 4 (2022) 年度の主な取組状況	進捗度	H28 (2016) 年度からの実績 (累積)
⑥ 気候変動対策の推進	・ 対象施設無し	—	
⑦ 管理体制の構築 ・ 関係者間の情報共有化による公園施設の計画的管理の推進	・ 公園指定管理者運営調整会議の実施 (書面開催 令和 4 年 6 月 24 日)		

(8) 空港

<現行の個別施設計画>

- ・ 栃木ヘリポート施設長寿命化修繕計画 H28(2016)年度策定 (計画期間：H30～R9年)

<令和4(2022)年度末における施設の状況>

供用開始から30年以上が経過し、浄化槽や敷地管理策等の空港土木施設の劣化が進行

<令和4(2022)年度の主な取組結果>

- ・ 日常点検を通じ、修繕必要箇所の把握に努めた。
- ・ 施設設備(外部扉、浄化槽)の更新、修繕を実施した。

<令和5(2023)年度以降の主な取組・今後の課題>

長寿命化計画を基本としつつ、点検を通じて発見される修繕対象箇所については、緊急度を見極めながら対応していく必要がある。

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
① 点検・診断等 ・ 「栃木ヘリポート機能管理規程(セイフティ編)」に基づく点検・診断等の実施	・ 「栃木ヘリポート機能管理規程(セイフティ編)」に基づく点検を実施 (設備に応じ日常点検、定期点検、法定点検を実施)		
② 維持管理・修繕・更新等 ・ 点検結果のストックに基づく必要に応じた修繕計画等の作成と計画的な施設保全の実施	・ 法定点検、日常点検等の結果に基づき、補修等の必要な箇所を把握し、随時補修等を実施		
③ 安全確保 ・ 点検・診断等による空港機能の供用性や安全性に直ちに影響が及ぶと判断された場合の緊急修繕の実施	・ 緊急修繕を実施(1件) 外部扉丁番の修繕		



イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
		◎	
④ 長寿命化 ・「栃木ヘリポート施設長寿命化計画」に基づく計画的な維持管理	・対象施設の修繕 1件(計画値:1件) 浄化槽修繕	◎	・施設の修繕 5件

エ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
		—	
⑤ 気候変動対策の推進	・実施対象施設無し	—	
⑥ 管理体制の構築 ・点検結果の栃木ヘリポート安全管理委員会への報告と情報の共有化	・点検結果の栃木ヘリポート安全管理委員会等に報告と情報共有(随時) ・公共用ヘリポート管理者研修(令和5年3月2日出席)		

## (9) 農業水利施設

### <現行の個別施設計画>

- ・ 栃木県農業水利施設保全管理指針 H22(2010)年度策定 (計画期間：無し)

### <現状認識>

- ・ 基幹的農業水利施設は137施設(令和5(2023)年3月末現在)で、多くが昭和30(1955)年代以降急速に整備  
〔内訳〕 農業用ダム11箇所、頭首工94箇所、用水機場20箇所、排水機場9箇所、ため池3箇所
- ・ 約4割の施設が標準的な耐用年数を超過(10年後に約5割)

### <令和4(2022)年度の主な取組結果>

- ・ 農業水利施設保全管理システムの構築のため水利施設データの収集・更新を実施した。  
(755施設)
- ・ 防災重点農業用ため池の地震耐性評価を実施した。(77箇所)
- ・ 防災重点農業用ため池の豪雨耐性評価を実施した。(76箇所)
- ・ 防災重点農業用ため池の劣化状況評価を実施した。(69箇所)
- ・ 防災重点農業用ため池に転落防止啓発看板を設置した。(31箇所)

### <令和5(2023)年度以降の主な取組・今後の課題>

#### ① 点検・診断等

- ・ 県、市町、県土地改良事業団体連合会市町からなる地域委員会が、土地改良区など施設管理者に対して簡易診断の実施方法を指導
- ・ 施設管理者における水利施設の点検・診断結果等の記録

#### ② 維持管理・更新・修繕等

- ・ 施設管理者における簡易診断の実施
- ・ 簡易診断結果を踏まえた基幹的農業水利施設の定期診断実施スケジュール見直し

#### ③ 安全確保・耐震化・長寿命化

- ・ 防災重点農業用ため池の実施計画の策定
- ・ 防災重点農業用ため池の転落防止啓発看板の設置
- ・ ため池の状況を速やかに把握するための監視カメラや水位計設置等の管理施設の整備

#### ④ 統合や廃止

- ・ 施設が決壊した場合に下流に影響を与える恐れのあるため池の廃止工事

⑤総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築

- ・ 県と県土地改良事業団体連合会からなる保安全管理委員会において計画的な管理の検討
- ・ 農業水利施設保安全管理システム（水利施設のデータ）の更新

【今後の課題】

- ・ 老朽化が進んでいる小規模農業水利施設の機能診断・機能保全計画の策定及び対策工事の促進
- ・ 防災重点農業用ため池の保安全管理に向けた具体的かつ計画的な推進

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況		H28(2016)年度からの実績(累積)																								
		進捗度																									
<p>① 点検・診断等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「農業水利施設管理者のための簡易診断（1次診断）マニュアル」に基づく状態把握</li> <li>・ 点検・診断結果等の蓄積と施設の不具合の早期発見</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域委員会が、土地改良区など施設管理者に対して簡易診断の実施方法等を指導（7地域委員会）</li> <li>・ 1次診断（日常点検(週1回)の実施</li> <li>・ 臨時点検の実施（頭首工一斉点検（541施設））</li> <li>・ 施設管理者における点検・診断結果等の蓄積</li> </ul>	/	<p>※農業水利施設数（10ha以上）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>基幹</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダム</td> <td>11</td> <td>2</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>頭首工</td> <td>94</td> <td>447</td> <td>541</td> </tr> <tr> <td>ため池</td> <td>3</td> <td>93</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>用排水機</td> <td>29</td> <td>53</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>137</td> <td>595</td> <td>732</td> </tr> </tbody> </table> <p>総延長：約16,000km</p> <p>※頭首工（主に取水堰や取水口）用水を取り入れる施設</p>	工種	基幹	その他	計	ダム	11	2	13	頭首工	94	447	541	ため池	3	93	96	用排水機	29	53	82	計	137	595	732
工種	基幹	その他	計																								
ダム	11	2	13																								
頭首工	94	447	541																								
ため池	3	93	96																								
用排水機	29	53	82																								
計	137	595	732																								
<p>② 維持管理・修繕・更新等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 簡易診断（1次診断）の結果等を踏まえた簡易修繕や更新等の実施</li> <li>・ 簡易診断の結果を踏まえた<u>定期診断（2次診断）</u>の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次診断結果を踏まえた農業水利施設（10ha以上）の定期（2次）診断実施（22施設）</li> </ul>	/																									

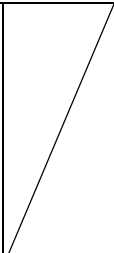
<p>③ 安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緊急修繕や災害復旧等の実施</li> <li>防災重点ため池の集中的な対策について「栃木県農業用ため池対策推進方針」に基づいた計画的な推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害復旧工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>福島県沖地震 1箇所</li> </ul> </li> <li>防災重点農業用ため池の豪雨耐性評価を実施 76箇所</li> <li>防災重点農業用ため池に転落防止啓発看板を設置 31箇所</li> </ul>	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災重点農業用ため池の豪雨耐性評価 (171箇所)</li> </ul>
<p>④ 耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の重要度に応じた耐震化の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災重点農業用ため池の地震耐性評価の実施 77箇所（計画値：R4年度までに171箇所）</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災重点農業用ため池の地震耐性評価 (171箇所)</li> </ul>

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
		<p>⑤ 長寿命化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期診断（2次診断）の結果に基づく必要性に応じた詳細診断（3次診断）の実施及び補修時期や工法等を定める機能保全計画の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災重点農業用ため池の劣化状況評価を実施  69箇所（計画値：R4年度までに171箇所） さかいのうちためしも 境ノ内溜（下）（宇都宮市）等</li> </ul>

ウ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
		<p>⑥ 気候変動対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象施設無し</li> </ul>

<p>⑦ 管理体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県と県土地改良事業団体連合会からなる保全管理委員会及び地域委員会を通じて県・市町・施設管理者の役割分担を明確にし、適切な保全管理を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保全管理委員会を開催 (令和5年2月1日(水) 24名参加)</li> </ul> <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業水利施設保全管理システムを構築(水利施設データの収集・更新) 732施設</li> </ul>		
--	---	---	--

(10) 治山施設

<現行の個別施設計画>

- ・ 栃木県治山施設長寿命化計画 R元(2019)年度策定 (計画期間：R2～11年)

<令和4(2022)年度末における施設の状況>

- ・ 対象となる治山施設は、2,613箇所、溪間工8,330基、山腹工1,156ha(令和5(2023)年3月末現在)があり、溪間工は昭和30(1955)年代、山腹工は昭和55(1980)年から多くが施工
- ・ 施工後50年以上経過する施設は、溪間工約42%、山腹工約26%(10年後に溪間工約58%、山腹工約45%、20年後に溪間工約75%、山腹工約74%)

<令和4(2022)年度の主な取組結果>

- ・ 機能強化、老朽化対策工事を行った。(4件)

<令和5(2023)年度以降の主な取組・今後の課題>

- ・ 災害発生時には、災害復旧工事を緊急的に実施する必要があることから、災害の少ない期間において優先的に機能強化、老朽化対策工事を実施し、維持管理・修繕・更新等(長寿命化)の進捗を図る。

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況		H28(2016)年度からの実績(累積)
		進捗度	
① 点検・診断等 ・ 林野庁の「治山施設個別施設計画策定マニュアル」に基づく点検・診断の実施  ・ 周辺の森林の状況等も踏まえた施設の破損等の変状や経年劣化を把握し情報を収集・蓄積	・ 「治山施設個別施設計画策定マニュアル」に基づく定期点検の実施(66件) ・ 大雨発生等による臨時点検の実施  ・ 履歴等の記録・更新(66件)	/	

<p>② 維持管理・修繕・更新等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「栃木県治山施設長寿命化計画」に基づく計画的な施設管理を実施</li> </ul> <p>③ 安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点検・診断の結果により、損傷の度が高く危険があると判断された場合は、緊急的な修繕を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点検結果に基づき簡易補修を随時実施</li> </ul>	/	
<p>④ 耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震による影響を受ける施設を作設する場合は耐震化を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象施設なし</li> </ul>	-	

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
		<p>⑤ 長寿命化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「栃木県治山施設長寿命化計画」に基づき、予防保全的な修繕を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能強化、老朽化対策工事 4件(計画値:10件/年平均) 大沢池(佐野市) 等</li> </ul>

ウ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
		<p>⑥ 気候変動対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施対象施設なし</li> </ul>
<p>⑦ 管理体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成の技術研修等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新任者研修会の開催 (令和4年7月5日 : 参加者7名)</li> <li>・OJT等による人材育成を実施</li> </ul>	/	

(11) 林道

<現行の個別施設計画>

- ・ 栃木県林道施設長寿命化計画 R元(2019)年度策定 (計画期間：R2～11年)

<令和4(2022)年度末における施設の状況>

- ・ 林道の施設は119構造物(橋梁115橋、トンネル4本)及び舗装区間約180km、未舗装区間約51kmを管理(令和5(2023)年3月末現在)、多くが高度経済成長期に整備
- ・ 建設後50年経過の構造物が全体の約40%(10年後約63%、20年後約77%)

<令和4(2022)年度の主な取組結果>

- ・ 定期点検の実施とその結果をデータベースに蓄積し、維持管理業務に活用した。
- ・ 予防保全工事を行った。(4件)

<令和5(2023)年度以降の主な取組・今後の課題>

- ・ 「林道施設長寿命化対策マニュアル」に基づく定期点検を実施する。
- ・ 予防保全のための工事を実施する。

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
① 点検・診断等 ・ 「林道施設長寿命化対策マニュアル」に基づく点検・診断の実施  ・ 施設の劣化・損傷の状況や施設の各種諸元等の情報の収集・蓄積	・ 「林道施設長寿命化対策マニュアル」に基づく定期点検の実施(橋梁17件、舗装35件) ・ 大雨発生等による臨時点検の実施  ・ 履歴等の記録・更新(52件)		
② 維持管理・修繕・更新等 ・ 「栃木県林道施設長寿命化計画」に基づく計画的な施設管理	・ 点検結果に基づき簡易補修を随時実施		
③ 安全確保			



・ 損傷の度が高く、利用者に対して危険があると判断する場合、通行規制等の必要な措置の実施			
④ 耐震化 ・ 耐震性能の診断に基づく橋梁の耐震化の実施	・ 実施対象施設なし	—	

#### イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
		△	
⑤ 長寿命化 ・ 「栃木県林道施設長寿命化計画」に基づく予防保全的な修繕の実施	・ 予防保全工事 4件(計画値:8件/年平均) ・ 橋梁1件 大荷場木浦沢線(鹿沼市) ・ 舗装3件 高原線(矢板市) 等	△	予防保全工事の実績 20件 ・ 橋梁 6件 ・ 舗装 13件 ・ トンネル 1件 (現計画R2からの実績 12件) ・ 橋梁 3件 ・ 舗装 8件 ・ トンネル 1件

#### ウ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
		—	
⑥ 気候変動対策の推進	・ 実施対象施設なし	—	
⑥ 管理体制の構築 ・ 人材育成のための技術研修等の実施	・ 新任者研修会の開催 (令和4年7月5日 : 参加者7名) ・ OJT等による人材育成を実施		

(12) 自然公園等施設

<現行の個別施設計画>

- ・ 栃木県自然公園施設長寿命化計画 R元(2019)年度策定 (計画期間：R2～11年)

<令和4(2022)年度末における施設の状況>

- ・ 自然公園等施設は道路251km、園地・駐車場48ha(令和5(2023)年3月末現在)
- 〔主要施設数〕橋梁42橋、車道13路線、棧橋5箇所、展望施設16箇所、駐車場47箇所
- ・ 木製の構造物が大半であり、個々の環境により老朽化(腐朽)の進行に大きな差がある

<令和4(2022)年度の主な取組結果>

- ・ 自然公園等施設の点検を実施した。(162施設)
- ・ 長寿命化工事を行った。(橋梁1件、展望施設1箇所)

<令和5(2023)年度以降の主な取組・今後の課題>

- ・ 自然公園等施設の点検を継続し、点検結果を踏まえた修繕等を実施する。

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況		H28(2016)年度からの実績(累積)
		進捗度	
① 点検・診断等 ・ 施設巡視の際に施設の状況を確認 ・ 年1回点検を実施	・ 維持管理業務等の巡視時における施設の目視点検を実施 (業務委託：6地区) ・ 職員主体による施設の目視点検を実施(162箇所)		
② 維持管理・修繕・更新等 ・ 施設の劣化や損傷が軽微な段階で、予防的な修繕等を実施 ・ 利用状況や老朽化の程度を考慮し、計画的な修繕等を実施 ③ 安全確保 ・ 点検等により安全な利用が困難であることが判明し	・ 点検結果を踏まえた適切な維持管理の実施 (点検結果に基づき修繕等を随時実施)		※改修工事の実績 ・ 2件  ※応急措置の実績 ・ 2件

た場合、施設利用を停止し、緊急的な修繕や応急措置を実施			
-----------------------------	--	--	--

#### イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
		◎	
④ 長寿命化 ・「栃木県自然公園施設長寿命化計画」に基づく定期的な施設の健全度調査と、これに基づく計画的な施設の修繕等を実施  ・修繕等に当たっての木材の優先利用、及び木材が腐朽し易い基礎や地際部分への鋼材やコンクリートの使用	・長寿命化工事 2件(計画値:2件/年平均) ・ 橋梁 1件 弁天北温泉線道路(那須町) ・ 展望施設1件 観瀑台園地(日光市)	◎	※長寿命化工事の実績 ・13件 (計画策定前9件、計画策定後4件)

#### ウ 最適化の推進

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
		—	
⑤ 統合・廃止の推進 ・利用の見込みがなく、老朽化により安全を確保できない施設の廃止を検討  ・国等への移管が可能な国立公園内の施設について調整を実施	・実施対象施設なし	—	※統合・廃止の実績 ・1箇所

エ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R 4 (2022) 年度の主な取組状況	進捗度	H28 (2016) 年度からの実績(累積)
⑥ 気候変動対策の推進 ・ 修繕等に当たっての県産出材の積極的利用	・ 木製構造物における県産出材の利用	—	
⑦ 管理体制の構築 ・ 地域住民や自然ガイド等の利用者から提供される情報を有効に収集・活用する体制を構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため研修等開催無し</li> </ul> (参考) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然公園技術者研修(座学)の開催 (平成30年7月12日) (6名参加)</li> <li>・ 自然公園技術者研修(現地)の開催 (平成30年8月30日) (6名参加)</li> <li>・ 自然公園技術者研修(座学)の開催 (平成31年1月13日) (26名参加)</li> <li>・ 自然公園技術者研修(現地)の開催 (平成31年6月27日) (6名参加)</li> </ul> 以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		

(13) 発電施設

<現行の個別施設計画>

- ・電気事業中期改修計画 R4(2022)年度策定 (計画期間：R4～27)

<令和4(2022)年度末における施設の状況>

- ・県営発電所は12箇所、昭和30(1955)年代に建設された発電所が3箇所
- ・発電用ダムは3箇所、昭和30(1955)年代に建設されたものが2箇所

<令和4(2022)年度の実績結果>

- ・「栃木県企業局事業用電気工作物保安規程」等に基づく定期点検を実施した。(12発電所、3ダム)
- ・「電気事業中期改修計画」に基づく修繕・改修を実施した。(3件)

<令和5(2023)年度以降の主な取組・今後の課題>

- ・「栃木県企業局事業用電気工作物保安規程」等に基づく定期点検を実施する。(12発電所、3ダム)
- ・「電気事業中期改修計画」に基づく修繕・改修を実施する。(1件)

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の実績状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
① 点検・診断等 ・「栃木県企業局事業用電気工作物保安規程」及び「栃木県営発電所等運用操作基準」に基づく巡視点検等の実施 ・点検等の結果の蓄積と維持管理への反映	・定期点検予定表に基づく巡視点検の実施 12発電所、3ダム ・震度4以上で臨時点検を実施 ・点検結果を設備保守記録簿に記載し、設備単位で履歴を管理して維持管理業務に活用 (参考) ・設備のオーバーホール点検(1回/12年) R4実績無し	/	

<p>② 維持管理・修繕・更新等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点検の結果を踏まえた設備ごとの適切な管理の実施</li> <li>・電気事業中期改修計画に基づく施設の重要度や老朽化度等を勘案した計画的な設備の修繕及び改修の実施</li> </ul> <p>③ 安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点検等により不具合箇所が発見された場合又は突発的な災害や事故等による設備損傷を受けた場合の緊急修繕等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点検結果や設備の使用年数等を踏まえた修繕、改修計画の随時見直し</li> <li>・点検結果に基づく設備の修繕、改修（2件） <ul style="list-style-type: none"> <li>・庚申ダム注水口水質観測装置更新工事</li> <li>・木の俣発電所固定子更新工事</li> </ul> </li> </ul>		<p>設備の修繕・改修の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11件</li> </ul>
<p>④ 耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「栃木県建築物耐震改修促進計画」に基づく発電所本館及びダム管理所の耐震化の実施</li> <li>・水路や水槽等の水力発電に供する土木設備の基本計画の策定と計画的な耐震化の推進</li> <li>・ダム本体のダム耐震性能照査の実施と診断結果を踏まえた耐震補強工事の実施</li> </ul>	<p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・風見発電所本館建替工事实施中（R2～R5工事）</li> </ul> <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水路設備の耐震補強詳細設計業務の実施中（R4～R5委託）1件（2施設分※）</li> </ul> <p>※足尾発電所調圧水槽及び水圧鉄管の2施設の耐震補強詳細設計</p>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発電所本館等建替 0件（H21～H27年度5件）</li> <li>・水路設備（対象4施設）耐震性能照査4施設実施結果2施設不満足</li> <li>・ダム（対象2施設）耐震性能照査2施設実施問題なし</li> </ul>

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況		H28(2016)年度からの実績(累積)
		進捗度	
<p>⑤ 長寿命化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点検、診断結果等のデータの蓄積と把握した各々の設備状況を踏まえた適時、必要な対策の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備の内部点検修繕 1件（計画値：1件） 風見発電所沈砂池等ゲート巻揚装置</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備修繕の実施（2件）</li> </ul>

ウ 最適化の推進

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況		H28(2016)年度からの実績(累積)
		進捗度	
⑥ 統合・廃止の推進	実施対象施設なし	—	

エ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況		H28(2016)年度からの実績(累積)
		進捗度	
⑦ 気候変動対策の推進	<p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ設備への更新 板室管理支所屋外照明LED化更新</li> </ul> <p>(参考 継続事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>とちぎふるさと電気 供給電力量 78,635,192kWh</li> </ul> <p>※環境付加価値分による県の環境保全事業(6事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>EVバス導入事業</li> <li>日光MaaS関連整備事業</li> <li>栃木県県民の森施設整備</li> <li>サイクリング促進事業</li> <li>プラスチックごみ削減対策事業</li> <li>SDGs推進企業支援事業</li> </ul>	—	<p>照明LED化更新(R7年度までに建物全ての照明LED化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H31今市発電管理事務所</li> <li>H31足尾発電所監査路</li> <li>R3足尾発電所発電機室</li> </ul> <p>とちぎふるさと電気 供給電力量 218,584,321kWh</p> <p>H30 : 21,178,399kWh R元 : 26,074,930kWh R2 : 33,120,992kWh R3 : 59,574,808kWh</p>
⑧ 管理体制の構築 ・人材育成のための技術研修等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>水力発電に関する基礎研修会(運営・保守重点コース) 令和4年11月14日～18日(1名出席)</li> <li>水力発電設備研修 令和5年1月11日～12日(4名出席) ほか講習会等36回参加</li> </ul>		

(14) 水道・工業用水道施設

<現行の個別施設計画>

- ・設備更新等長期計画 R4(2022)年度策定 (R6~18年)

<令和4(2022)年度末における施設の状況>

- ・県営水道事務所は2施設で、北那須水道事務所は昭和50年代に建設、鬼怒水道事務所は昭和60年代に建設

<令和4(2022)年度の主な取組結果>

- ・「栃木県水道及び工業用水道施設点検基準」に基づき、日常点検、普通点検、精密点検を実施した。(2施設)
- ・(北那須)管理本館2階の照明設備工事(LED化)を行った。(1件)
- ・再生可能エネルギー導入に向けた設計業務委託を行った。(2件)

<令和5(2023)年度以降の主な取組・今後の課題>

- ・再生可能エネルギー導入に向けた設計業務委託を行う。(2件)

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
① 点検・診断等 ・「栃木県水道及び工業用水道施設点検基準」に基づく日常点検、普通点検、精密点検の実施	・栃木県水道及び工業用水道施設点検基準に基づく日常点検、普通点検、精密点検等の実施 日常点検・・・毎日実施(設備毎に実施) 普通点検・・・年1回実施 精密検査・・・設備に応じ1回/3年~10年で実施  ・点検結果を設備保守記録簿に記載し、設備単位で履歴を管理して維持管理業務に活用	/	



<p>② 維持管理・修繕・更新等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備更新等長期計画の策定と計画的な修繕・更新等の実施</li> <li>・管路の劣化診断等の実施とその結果について設備更新等長期計画への反映</li> </ul> <p>③ 安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点検等により不具合箇所が発見された場合又は突発的な災害や事故等による設備が損傷した場合の緊急的な修繕等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備更新等長期計画の見直しと計画的な修繕・更新等の実施</li> <li>・緊急的な修繕等の実施（2件）</li> </ul>	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管路劣化診断業務委託の実績 7件</li> <li>・緊急的な修繕等の実施 18件</li> </ul>
<p>④耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道施設耐震化基本計画に基づく耐震化の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施対象施設無し</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管路耐震化の業務委託の実績 4件</li> </ul>

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
<p>⑤ 長寿命化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備の修繕や更新工事にあたり、最新技術や長寿命化に対応した素材を活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備修繕・更新工事の実施 1件（計画値：1件） （北那須）管理本館2階照明設備更新</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備修繕・更新工事の実績 ・7件 照明設備工事 ・3件 ステンレス化、アルミ化</li> </ul>

ウ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
<p>⑥ 気候変動対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ及び再生可能エネルギーの導入に向けた取組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギーの導入に向けた調査、設計の実施 3件（計画値：3件）</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>※R4(2022)年度からの実績(累積) ・再生可能エネルギーの導入に向けた調査、設計の実施 3件</li> </ul>
<p>⑦ 管理体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種課題を解決し、総合的かつ計画的な管理を実現するため、課題ごとに検討会を設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種検討会を設置（4部会）</li> <li>・水道施設耐震技術研修会 （令和4年12月15・16日 参加者2名）</li> <li>・水道技術者専門別研修会 （令和5年1月31～2月3日 参加者1名）</li> </ul>	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種検討会を設置</li> </ul>

(15) 交通安全施設（交通信号機）

<現行の個別施設計画>

- ・ 栃木県交通安全施設（交通信号機）維持管理計画 令和3（2021）年度策定（計画期間：R3～7）

<令和4（2022）年度末における施設の状況>

- ・ 交通信号機保有数は4,358基（令和5（2023）年3月末現在）
- ・ 全体の19.0%が設置後19年を経過

<令和4（2022）年度の主な取組結果>

- ・ 栃木県交通安全施設（交通信号機）維持管理計画の改定
- ・ 設置後の経過年数、修繕歴、点検結果等のデータを活用し、更新の必要性が高い制御機の更新を図った。（232基更新）
- ・ 必要性が低減した信号機の撤去を進め、適切なストック管理を図った。（20基撤去）

<令和5（2023）年度以降の主な取組・今後の課題>

- ・ 更新の必要性が高い制御機の更新を推進するとともに、必要性が低減した信号機の撤去を進め、適切なストック管理を図る。

ア 安全・安心の確保

実施方針及び取組内容	R4（2022）年度の主な取組状況		H28（2016）年度からの実績（累積）
		進捗度	
① 点検・診断等 ・ 「交通信号機管理要領」や「信号柱点検ガイドライン」に基づく点検  ・ 設備ごとの適切な点検方法、頻度の設定と「信号柱点検ガイドライン」による健全性の判定区分の設定	・ 「交通信号機管理要領」や「信号柱点検ガイドライン」に基づく点検 ・ 委託業者による専門的な点検・診断の実施 ・ ・ 設備ごとの適切な点検方法、頻度の設定と「信号柱点検ガイドライン」による健全性の判定区分の設定	/	

<p>② 維持管理・修繕・更新等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点検結果、補修履歴等を踏まえ、更新の必要性が高い交通信号制御機を優先的に更新</li> </ul> <p>③ 安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な時期に補修、更新、撤去を実施</li> <li>・機器の損傷等による、通行規制等の必要な措置の実施と改修工事の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点検結果に基づく適切な補修、更新、撤去を随時実施</li> </ul>	/	
--	---	---	--

イ 長寿命化の推進

実施方針及び取組内容	R 4 (2022) 年度の主な取組状況	進捗度	H28 (2016) 年度からの実績 (累積)
		<p>④ 長寿命化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機能を維持するため、必要に応じた措置の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能維持の修繕の実施</li> </ul> <p>232基 (計画: 230基/年平均) 老朽化制御器等更新</p>

ウ 最適化の推進

実施方針及び取組内容	R 4 (2022) 年度の主な取組状況	進捗度	H28 (2016) 年度からの実績 (累積)
		<p>⑤ 統合・廃止の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・真に必要な性の高い場所への交通信号機の新設</li> <li>・必要性が低減した交通信号機の撤去等によるストック管理の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通信号機新設 (11基)</li> <li>・必要性の低減した交通信号機の撤去 (20基)</li> </ul>

エ 気候変動対策の推進・その他

実施方針及び取組内容	R4(2022)年度の主な取組状況	進捗度	H28(2016)年度からの実績(累積)
⑥ 気候変動対策の推進 ・交通安全施設(交通信号機)維持管理計画に基づく交通管制システムの高度化等、交通安全施設の整備を推進する。	・交通安全施設(交通信号機)維持管理計画を改定し、気候変動対策の推進方策を策定	—	
⑦ 管理体制の構築 ・専門的な技能又は知識を有する職員の計画的な育成  ・業務の見直しや業務の合理化等による体制面の充実	・専科授業による後継者の育成  ・業務の合理化等による体制面の充実		